

改正後				改正前			
2 営農類型ごとの経営規模、生産方式(団体経営体) (1) 畜産				2 営農類型ごとの経営規模、生産方式(団体経営体) (1) 畜産			
営農類型	経営規模	生産方式		営農類型	経営規模	生産方式	
和牛肥育専門	構成員2人 常時雇用2人 <作目と作付面積> 肥育牛(去勢) 500頭 <経営面積> 施設用地面積 8,895 m ²	(主な資本装備) 堆肥舎 ホイルローダ, トラック, 送風機	(その他) ・肥育期間 18か月 ・出荷体重 789kg以上 ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6m ² で1群4頭程度	和牛肥育専門	<作目と作付面積> 肥育牛 500頭 <経営面積> 施設用地面積 5,000 m ²	(主な資本装備) 堆肥舎, ホイルローダ, トラック, 送風機	(その他) ・肥育期間 19か月 ・出荷体重 810kg以上 ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6m ² で1群4頭程度 ・1戸1法人で構成員2人, 常時雇用2人
養豚一貫	構成員2人 常時雇用7人 <作目と作付面積> 種雄豚 40頭 種雌豚 500頭 雌育成豚 165頭 子豚・肉豚 5,750頭 <経営面積> 施設用地面積 12,393 m ²	(主な資本装備) 豚舎, 堆肥舎, 尿処理施設 トラック, パキュームカー, ホイルローダ	(その他) ・年平均分娩 2.3回以上 ・種雌豚外部導入割合 20% ・種雄豚は, 能力検定豚を外部導入	養豚一貫	<作目と作付面積> 種雄豚 40頭 種雌豚 500頭 雌育成豚 165頭 肉豚 12,370頭 <経営面積> 施設用地面積 13,600 m ²	(主な資本装備) 堆肥舎, 尿処理施設, トラック, パキュームカー, ホイルローダ	(その他) ・年平均分娩 2.5回以上 ・種雌豚外部導入割合 20% ・種雄豚は, 能力検定豚を外部導入 ・1戸1法人で構成員2人, 常時雇用7人

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」新旧対照表

(下線部分は改正部分)

改正後				改正前					
(2) 野菜				(2) 野菜					
営農類型	経営規模	生産方式		営農類型	経営規模	生産方式			
野菜専作1	構成員2人 常時雇用2人 <作目と作付面積> キヤベツ (晩夏まき) 7.0ha (晩秋まき) 7.0ha (加工) 6.0ha 焼酎用さつまいも 4.0ha <経営面積> 24.0ha	(主な資本装備) 育苗用ハウス 移植機(半自動), ブームスプレー ヤ, マニユアスプレ レッド, ライムソ ワー, プロードキ ヤスタ, ホイルロ ード, ロータリ, 管理機, 3畦畦立 機, 2tトラック, トラクタ3台 (95ps, 50ps, 25ps)	(その他) キヤベツ ・契約販売 ・育苗～セル成形苗自家育苗 ・継続出荷のための品種選定 (12～3月継続出荷) ・12～3月の臨時雇用確保	野菜専作1	<作目と作付面積> キヤベツ (夏まき) 4.0ha (秋まき) 4.0ha だいこん 4.0ha 焼酎用さつまいも 4.0ha でん粉用さつまいも 4.0ha ごぼう 4.0ha <経営面積> 24.0ha	(主な資本装備) 育苗用ハウス, 移 植機(半自動), ブ ームスプレーヤ, マニユアスプレッ ダ, ライムソワー, プロードキヤスタ, ホイルロード, ロータリ, 管理機, 3畦畦立機, 2t トラック, トラク タ3台(95ps, 50 ps, 25ps)	(その他) キヤベツ ・契約販売 ・育苗～セル成形苗自家育苗 ・継続出荷のための品種選定 (12～3月継続出荷) ・常時雇用2名 ・12～3月の臨時雇用確保		
	野菜専作2	構成員2人 常時雇用3人 <作目と作付面積> ごぼう 8.0ha 焼酎用さつまいも 1.0ha にんじん 2.5ha <経営面積> 11.5ha	(主な資本装備) トラクタ3台 (70ps, 42ps, 20ps) トレンチャ, ブームスプレー ヤ, ごぼうハーベスタ, 重量選別機		(その他) ・大型機械による作業体系 ・輪作, 借地による病害虫の低減 ・良質堆肥による収量の向上 ・農繁期の臨時雇用確保	野菜専作2	<作目と作付面積> ごぼう 10.0ha 焼酎用さつまいも 5.0ha にんじん 3.0ha <経営面積> 18.0ha	(主な資本装備) トラクタ3台(70 ps, 42ps, 20ps), ト レンチャー, ブー ムスプレーヤ, ご ぼうハーベスタ, 重量選別機	(その他) ・大型機械による作業体系 ・輪作, 借地による病害虫の低減 ・良質堆肥による収量の向上 ・常時雇用3人の活用 ・農繁期の臨時雇用確保
		野菜専作3	構成員2人 <作目と作付面積> だいこん (秋まきマルチ) 4.0ha (冬まきトンネル) 4.0ha (春まき) 4.0ha <経営面積> 12.0ha		(主な資本装備) 農機具庫, トラクタ2台 (95ps, 35ps), 土壌消毒機, シー ダーテープマルチ ヤ, マニユアスプレ レッド, ホイルロード, 乗用管理防除機, 2tトラック, だいこん収穫機		(その他) ・大型農業機械の導入 ・適期管理 ・効率的な借地活用 ・緑肥栽培や深耕の実施 ・農繁期の臨時雇用確保	野菜専作3	<作目と作付面積> だいこん (秋まき露地) 2.0ha (冬まきトンネル) 2.0ha (土付き契約) 10.0ha 焼酎用さつまいも 8.0ha でん粉用さつまいも 2.0ha <経営面積> 24.0ha

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」新旧対照表

(下線部分は改正部分)

改正後			改正前																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>営農類型</th> <th>経営規模</th> <th colspan="2">生産方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">花き専作1 (施設)</td> <td>構成員2人 常時雇用13人</td> <td>(主な施設整備) 中期展張ハウス 20,000㎡</td> <td>(その他) ・雇用導入による周年大型経営 ・秋輪ギクと夏秋輪ギクの組み合わせ による周年安定出荷</td> </tr> <tr> <td><作目と作付面積> 輪ギク周年 秋品種+夏秋品種 (20,000㎡×2.7回転)</td> <td>倉庫兼作業場 トラクタ, 軽トラ ック, 2tトラッ ク, 電照施設, 動力噴霧機, 循環換気扇, 暖房機, 選花機(自 動結束), 冷蔵庫</td> <td>・直挿し定植による省力栽培 ・秋輪ギクは, 県が育成した半無側枝 性かつ低温開花性の品種を導入 ・夏秋輪ギクは半無側枝性の精の一世</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">花き専作2 (施設)</td> <td>構成員2人 常時雇用4人</td> <td>(主な施設整備) 平張施設(本ぼ用) 20,000㎡</td> <td>(その他) ・雇用導入による周年大型経営 ・秋スプレーギクと夏秋スプレーギク の組み合わせによる周年出荷</td> </tr> <tr> <td><作目と作付面積> 平張スプレーギク 周年 秋品種+夏秋品種 (20,000㎡×2.2回転)</td> <td>トラクタ, 軽トラ ック, 2tトラッ ク, 動力噴霧機, 管理機, 選花機, 冷蔵庫, 電照施設, かん水施設, 発電機</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><経営面積> 20,000㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	営農類型	経営規模	生産方式		花き専作1 (施設)	構成員2人 常時雇用13人	(主な施設整備) 中期展張ハウス 20,000㎡	(その他) ・雇用導入による周年大型経営 ・秋輪ギクと夏秋輪ギクの組み合わせ による周年安定出荷	<作目と作付面積> 輪ギク周年 秋品種+夏秋品種 (20,000㎡×2.7回転)	倉庫兼作業場 トラクタ, 軽トラ ック, 2tトラッ ク, 電照施設, 動力噴霧機, 循環換気扇, 暖房機, 選花機(自 動結束), 冷蔵庫	・直挿し定植による省力栽培 ・秋輪ギクは, 県が育成した半無側枝 性かつ低温開花性の品種を導入 ・夏秋輪ギクは半無側枝性の精の一世	花き専作2 (施設)	構成員2人 常時雇用4人	(主な施設整備) 平張施設(本ぼ用) 20,000㎡	(その他) ・雇用導入による周年大型経営 ・秋スプレーギクと夏秋スプレーギク の組み合わせによる周年出荷	<作目と作付面積> 平張スプレーギク 周年 秋品種+夏秋品種 (20,000㎡×2.2回転)	トラクタ, 軽トラ ック, 2tトラッ ク, 動力噴霧機, 管理機, 選花機, 冷蔵庫, 電照施設, かん水施設, 発電機			<経営面積> 20,000㎡			(新規)
営農類型	経営規模	生産方式																					
花き専作1 (施設)	構成員2人 常時雇用13人	(主な施設整備) 中期展張ハウス 20,000㎡	(その他) ・雇用導入による周年大型経営 ・秋輪ギクと夏秋輪ギクの組み合わせ による周年安定出荷																				
	<作目と作付面積> 輪ギク周年 秋品種+夏秋品種 (20,000㎡×2.7回転)	倉庫兼作業場 トラクタ, 軽トラ ック, 2tトラッ ク, 電照施設, 動力噴霧機, 循環換気扇, 暖房機, 選花機(自 動結束), 冷蔵庫	・直挿し定植による省力栽培 ・秋輪ギクは, 県が育成した半無側枝 性かつ低温開花性の品種を導入 ・夏秋輪ギクは半無側枝性の精の一世																				
花き専作2 (施設)	構成員2人 常時雇用4人	(主な施設整備) 平張施設(本ぼ用) 20,000㎡	(その他) ・雇用導入による周年大型経営 ・秋スプレーギクと夏秋スプレーギク の組み合わせによる周年出荷																				
	<作目と作付面積> 平張スプレーギク 周年 秋品種+夏秋品種 (20,000㎡×2.2回転)	トラクタ, 軽トラ ック, 2tトラッ ク, 動力噴霧機, 管理機, 選花機, 冷蔵庫, 電照施設, かん水施設, 発電機																					
	<経営面積> 20,000㎡																						

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」新旧対照表

(下線部分は改正部分)

改正後				改正前			
(4) 普通作物				(3) 普通作物			
営農類型	経営規模	生産方式		営農類型	経営規模	生産方式	
水稲専作	構成員2人 常時雇用1人	(主な資本装備) トラクタ、マニア スプレッダ、ロー タリ、代かきハロ	(その他) ・農地は借地主体 ・農繁期の一部雇用 ・早生、中生、晩生品種の組合せによ る作期拡大(ヒノヒカリ、あきの舞、 あきほなみ)	水稲専作 (集落営農)	普通期水稲 27.0ha	(主な施設整備)	(その他)
	<作目と作付面積> 普通期水稲 46.0ha	畦塗機、乗用田植 機(8条)、農業用 ドローン、自脱型 コンバイン(5 条)、フォークリフ ト、畦畔草払機、 乾燥調製施設一式				<作目と作付面積> 普通期水稲 27.0ha	トラクタ2台(70 ps, 30ps), 乗用田 植機(8条), 自脱 型コンバイン(5 条), 遠赤外線乾燥 機(3台)
<経営面積>	46.0ha			<経営面積>	27.0ha		
(5) 工芸作物				(新規)			
営農類型	経営規模	生産方式					
茶専作 (大規模)	構成員2人 常時雇用2人	(主な資本装備) 荒茶加工施設(煎 茶)	(その他) ・乗用型管理体系(一部ロボット機能 付き) ・荒茶加工施設処理能力 1,000kg/h ・市場出荷、相対取引				
	<作目と作付面積> 茶樹園(成木園)30.0ha (早生:40%) (中生:40%) (晩生:20%) <経営面積> 30.0ha	乗用型摘採機、乗用 型防除機、乗用型複 合管理機、防霜ファ ン、スプリンクラー					

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」新旧対照表

(下線部分は改正部分)

改正後		改正前																															
<p>第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標</p> <p>本基本方針第1に示したような目標を可能とする新たに農業経営を営もうとする青年等の農業経営の指標として、本県における主要な営農類型について示すと次のとおりである。</p> <p>1 営農類型ごとの経営規模、生産方式</p> <p>(1) 畜産</p>		<p>第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標</p> <p>本基本方針第1に示したような目標を可能とする新たに農業経営を営もうとする青年等の農業経営の指標として、本県における主要な営農類型について示すと次のとおりである。</p> <p>1 営農類型ごとの経営規模、生産方式</p> <p>(1) 畜産</p>																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>営農類型</th> <th>経営規模</th> <th colspan="2">生産方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酪農専門</td> <td> <作目と作付面積> 常時経産牛 20頭 育成牛 10頭 <経営面積> 飼料畑 3.4ha 施設用地面積 1,256㎡ </td> <td> (主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 尿処理槽, 農機具庫, 飼料倉庫, サイロトラクタ, 飼料作物用機械一式, 自動搾乳ユニット搬送装置 </td> <td> (その他) ・つなぎ飼い方式 ・トウモロコシ2期作とトウモロコシ+イタリアンライグラスを組み合わせた栽培体系 ・固液分離処理し, 固体は堆肥化 ・飼料作物用機械装備は共同利用 ・平均分娩間隔 13か月 ・経産牛1頭あたり乳量 9,000kg </td> </tr> <tr> <td>繁殖牛専門</td> <td> <作目と作付面積> 成牛 20頭 育成牛 4頭 <経営面積> 飼料畑 4.8ha 施設用地面積 600㎡ </td> <td> (主な資本装備) バドック型採光性牛舎, 分娩・子牛育成舎, 堆肥舎, 運動スタンション, 送風機, トラクタ, ロールペーラ, 分娩監視装置 </td> <td> (その他) ・繁殖牛の更新は自家育成(更新率14.3%) ・<u>分娩間隔: 380日</u> ・<u>子牛生産率: 90%</u> ・<u>繁殖供用開始月齢: 14か月</u> ・ほ乳は人工哺育 ・飼料作機械は共同利用 ・地域未利用資源の積極的活用 ・衛生管理, 個体管理の徹底 ・セリ市出荷: 9か月齢 </td> </tr> <tr> <td>和牛肥育専門</td> <td> <作目と作付面積> 肥育牛(去勢) 120頭 <経営面積> 施設用地面積 2,792㎡ </td> <td> (主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 敷料庫, トラック, スキッドステアーダ </td> <td> (その他) ・肥育期間: <u>18か月</u> ・出荷体重: <u>789kg以上(去勢)</u> ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6㎡で1群4頭程度 ・衛生管理, 個体管理の徹底 </td> </tr> </tbody> </table>	営農類型	経営規模	生産方式		酪農専門	<作目と作付面積> 常時経産牛 20頭 育成牛 10頭 <経営面積> 飼料畑 3.4ha 施設用地面積 1,256㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 尿処理槽, 農機具庫, 飼料倉庫, サイロトラクタ, 飼料作物用機械一式, 自動搾乳ユニット搬送装置	(その他) ・つなぎ飼い方式 ・トウモロコシ2期作とトウモロコシ+イタリアンライグラスを組み合わせた栽培体系 ・固液分離処理し, 固体は堆肥化 ・飼料作物用機械装備は共同利用 ・平均分娩間隔 13か月 ・経産牛1頭あたり乳量 9,000kg	繁殖牛専門	<作目と作付面積> 成牛 20頭 育成牛 4頭 <経営面積> 飼料畑 4.8ha 施設用地面積 600㎡	(主な資本装備) バドック型採光性牛舎, 分娩・子牛育成舎, 堆肥舎, 運動スタンション, 送風機, トラクタ, ロールペーラ, 分娩監視装置	(その他) ・繁殖牛の更新は自家育成(更新率14.3%) ・ <u>分娩間隔: 380日</u> ・ <u>子牛生産率: 90%</u> ・ <u>繁殖供用開始月齢: 14か月</u> ・ほ乳は人工哺育 ・飼料作機械は共同利用 ・地域未利用資源の積極的活用 ・衛生管理, 個体管理の徹底 ・セリ市出荷: 9か月齢	和牛肥育専門	<作目と作付面積> 肥育牛(去勢) 120頭 <経営面積> 施設用地面積 2,792㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 敷料庫, トラック, スキッドステアーダ	(その他) ・肥育期間: <u>18か月</u> ・出荷体重: <u>789kg以上(去勢)</u> ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6㎡で1群4頭程度 ・衛生管理, 個体管理の徹底	<table border="1"> <thead> <tr> <th>営農類型</th> <th>経営規模</th> <th colspan="2">生産方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酪農専門</td> <td> <作目と作付面積> 常時経産牛 20頭 育成牛 10頭 <経営面積> 飼料畑 3.4ha 施設用地面積 1,106㎡ </td> <td> (主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 尿処理槽, 農機具庫, 飼料倉庫, サイロトラクタ, 飼料作物用機械一式, 自動搾乳ユニット搬送装置 </td> <td> (その他) ・つなぎ飼い方式 ・トウモロコシ2期作とトウモロコシ+イタリアンライグラスを組み合わせた栽培体系 ・固液分離処理し, 固体は堆肥化 ・飼料作物用機械装備は共同利用 ・平均分娩間隔 13か月 ・経産牛1頭あたり乳量 9,000kg </td> </tr> <tr> <td>生産牛専門</td> <td> <作目と作付面積> 成牛 20頭 育成牛 4頭 <経営面積> 飼料畑 4.8ha 施設用地面積 483㎡ </td> <td> (主な資本装備) バドック型牛舎, 分娩・子牛育成舎, 堆肥舎, 運動スタンション, 送風機, トラクタ, ロールペーラ, 分娩監視装置 </td> <td> (その他) ・生産牛の更新は自家育成(更新率20%) ・生産率90%以上を確保 ・ほ乳は人工哺育 ・飼料作機械は共同利用 ・地域未利用資源の積極的活用 ・衛生管理, 個体管理の徹底 ・セリ市出荷 概ね8か月齢 </td> </tr> <tr> <td>和牛肥育専門</td> <td> <作目と作付面積> 肥育牛 120頭 <経営面積> 施設用地面積 2,792㎡ </td> <td> (主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 敷料庫, トラック, スキッドステアーダ </td> <td> (その他) ・肥育期間 19か月 ・出荷体重 780kg以上(去勢) ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6㎡で1群4頭程度 ・衛生管理, 個体管理の徹底 </td> </tr> </tbody> </table>	営農類型	経営規模	生産方式		酪農専門	<作目と作付面積> 常時経産牛 20頭 育成牛 10頭 <経営面積> 飼料畑 3.4ha 施設用地面積 1,106㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 尿処理槽, 農機具庫, 飼料倉庫, サイロトラクタ, 飼料作物用機械一式, 自動搾乳ユニット搬送装置	(その他) ・つなぎ飼い方式 ・トウモロコシ2期作とトウモロコシ+イタリアンライグラスを組み合わせた栽培体系 ・固液分離処理し, 固体は堆肥化 ・飼料作物用機械装備は共同利用 ・平均分娩間隔 13か月 ・経産牛1頭あたり乳量 9,000kg	生産牛専門	<作目と作付面積> 成牛 20頭 育成牛 4頭 <経営面積> 飼料畑 4.8ha 施設用地面積 483㎡	(主な資本装備) バドック型牛舎, 分娩・子牛育成舎, 堆肥舎, 運動スタンション, 送風機, トラクタ, ロールペーラ, 分娩監視装置	(その他) ・生産牛の更新は自家育成(更新率20%) ・生産率90%以上を確保 ・ほ乳は人工哺育 ・飼料作機械は共同利用 ・地域未利用資源の積極的活用 ・衛生管理, 個体管理の徹底 ・セリ市出荷 概ね8か月齢	和牛肥育専門	<作目と作付面積> 肥育牛 120頭 <経営面積> 施設用地面積 2,792㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 敷料庫, トラック, スキッドステアーダ	(その他) ・肥育期間 19か月 ・出荷体重 780kg以上(去勢) ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6㎡で1群4頭程度 ・衛生管理, 個体管理の徹底
営農類型	経営規模	生産方式																															
酪農専門	<作目と作付面積> 常時経産牛 20頭 育成牛 10頭 <経営面積> 飼料畑 3.4ha 施設用地面積 1,256㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 尿処理槽, 農機具庫, 飼料倉庫, サイロトラクタ, 飼料作物用機械一式, 自動搾乳ユニット搬送装置	(その他) ・つなぎ飼い方式 ・トウモロコシ2期作とトウモロコシ+イタリアンライグラスを組み合わせた栽培体系 ・固液分離処理し, 固体は堆肥化 ・飼料作物用機械装備は共同利用 ・平均分娩間隔 13か月 ・経産牛1頭あたり乳量 9,000kg																														
繁殖牛専門	<作目と作付面積> 成牛 20頭 育成牛 4頭 <経営面積> 飼料畑 4.8ha 施設用地面積 600㎡	(主な資本装備) バドック型採光性牛舎, 分娩・子牛育成舎, 堆肥舎, 運動スタンション, 送風機, トラクタ, ロールペーラ, 分娩監視装置	(その他) ・繁殖牛の更新は自家育成(更新率14.3%) ・ <u>分娩間隔: 380日</u> ・ <u>子牛生産率: 90%</u> ・ <u>繁殖供用開始月齢: 14か月</u> ・ほ乳は人工哺育 ・飼料作機械は共同利用 ・地域未利用資源の積極的活用 ・衛生管理, 個体管理の徹底 ・セリ市出荷: 9か月齢																														
和牛肥育専門	<作目と作付面積> 肥育牛(去勢) 120頭 <経営面積> 施設用地面積 2,792㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 敷料庫, トラック, スキッドステアーダ	(その他) ・肥育期間: <u>18か月</u> ・出荷体重: <u>789kg以上(去勢)</u> ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6㎡で1群4頭程度 ・衛生管理, 個体管理の徹底																														
営農類型	経営規模	生産方式																															
酪農専門	<作目と作付面積> 常時経産牛 20頭 育成牛 10頭 <経営面積> 飼料畑 3.4ha 施設用地面積 1,106㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 尿処理槽, 農機具庫, 飼料倉庫, サイロトラクタ, 飼料作物用機械一式, 自動搾乳ユニット搬送装置	(その他) ・つなぎ飼い方式 ・トウモロコシ2期作とトウモロコシ+イタリアンライグラスを組み合わせた栽培体系 ・固液分離処理し, 固体は堆肥化 ・飼料作物用機械装備は共同利用 ・平均分娩間隔 13か月 ・経産牛1頭あたり乳量 9,000kg																														
生産牛専門	<作目と作付面積> 成牛 20頭 育成牛 4頭 <経営面積> 飼料畑 4.8ha 施設用地面積 483㎡	(主な資本装備) バドック型牛舎, 分娩・子牛育成舎, 堆肥舎, 運動スタンション, 送風機, トラクタ, ロールペーラ, 分娩監視装置	(その他) ・生産牛の更新は自家育成(更新率20%) ・生産率90%以上を確保 ・ほ乳は人工哺育 ・飼料作機械は共同利用 ・地域未利用資源の積極的活用 ・衛生管理, 個体管理の徹底 ・セリ市出荷 概ね8か月齢																														
和牛肥育専門	<作目と作付面積> 肥育牛 120頭 <経営面積> 施設用地面積 2,792㎡	(主な資本装備) 畜舎, 堆肥舎, 敷料庫, トラック, スキッドステアーダ	(その他) ・肥育期間 19か月 ・出荷体重 780kg以上(去勢) ・追込牛舎で群飼, 1頭当たり床面積は約6㎡で1群4頭程度 ・衛生管理, 個体管理の徹底																														